



学校の安全分野の取組

小・中学校の事故の発生場所は学校が一番多いことから「小中学校での校内等でのけがの減少」を目的に学校の安全対策委員会を設置しております。

小学校

目標

校内等でのけがの減少

取組

- ・児童が主体となった校内パトロールの実施
- ・危険箇所マップ作り
- ・「危険」などの表示
- ・ポスターの掲示
- ・集会活動での呼びかけ



中学校

目標

運動部活動でのけがの減少

取組

- ・入念な準備運動の実施
- ・生徒が主体となったキャプテン会議の開催
- ・生徒が主体となった練習前後の用具・場所の安全点検の実施



★学校の安全分野の取組状況★

小学校



中学校



校内パトロールの実施



危険箇所マップ作り



入念な準備運動の実施



安全点検の実施

【主な取組と成果】

児童が主体となった校内パトロールの実施や危険箇所マップづくりに取り組み、児童のけが防止に対する意識と行動を高めました。

校内パトロールの実施校数(小学校)

2017年度 43校 → 2024年 81校 **88.4%増加**

【主な取組と成果】

生徒が主体となったキャプテン会議の実施、練習前後の用具点検、入念な準備運動の実施に組み、生徒のけが防止に対する意識と行動を高めました。

モデル小中学校でのけがの発生件数

2023年度 63件 → 2024年 47件 **23.5%減少**

1月31日をもって、セーフコミュニティ国際認証による活動を終了します。



平成25年の取組宣言から13年間、ありがとうございました。
関係団体、地域の皆様に支えられて、国際認証を取得することができました。
これまでのセーフコミュニティの取組・成果を活かし、今後とも、市民、関係団体、行政が協働して安心安全なまちづくりの推進に尽力してまいりますので、一層のご協力を賜いますようお願い申し上げます。



マグマシティPRキャラクター「リキニョン」